

## <学童の部・大分県大会注意事項について>

1. 開会式等がある大会は開始時間の45分前迄には集合し、受付を済ませてください。  
※選手の移動については時間にゆとりを持ち、安全運転に十分留意して下さい。  
大会パンフレットは有償販売ですので、大会本部にて3,000円を納入し受領してください。大会出場記念として各チームの集合写真を写真会社が撮影します。後日、チームの代表者にパネル等の見本品をお送りしますので、代表者の方は連絡先等を写真会社に知らせてください。(個人情報厳守いたします。)
2. 開会式の入場行進については、同一ユニフォームを着用した選手で背番号が「0番～99番」の選手のみ入場行進を認めます。(総勢30名迄とするがベンチ入りは25名)  
行進は背の低い順に2列行進で行います。選手はスパイクを着用のこと。  
入場行進は開会式での重要なセレモニーです。行進の練習をお願いします。  
開会式にはチーム名のプラカード、代表旗(優勝旗)、団旗を持参してください。
3. 開会式時には監督・コーチはグラウンドに整列をして選手への激励をお願いします。
4. 組合せ表の試合開始時間は目安であり、天候等の状況により開始時間を早めることもあるので、開始予定の1時間前には集合してください。球場の開門は1時間前とする。  
(雨天時の問合せは各チーム代表者1名のみが問合せを行ってください。県連からは各チームの代表者に連絡はしないので、自チームで勝手な判断をしないでください。)  
※雨天の場合でも試合開始時間を遅らせて日程を消化することもあります。
5. 各球場ともに十分な練習会場がありませんので、ご理解ください。
6. 当日、登録監督が不在の場合はコーチの代理を認めるので、試合前に届け出ること。
7. ベンチ入り出来る大人は、監督1名、コーチ2名、チーム代表者1名、引率責任者1名、スコアラー1名、トレーナー(有資格者)1名の合計7名迄とする。(男女は問わない)なお、熱中症対策として保護者2名以内をベンチに入ることができる。ベンチ入りする大人はスポーツ行事にふさわしい格好であること。ハーフパンツは禁止とする。スパッツは可とする。なお、ユニフォームの着用(ロングパンツ禁止)は監督1名とコーチ2名の合計3名のみで、以外の大人はユニフォームを着用してベンチ内に入ることはできません。試合開始前の練習時に保護者がグラウンド内に入り練習の補助はできない。試合後のグラウンド整備は、両チームの選手で行うこと。
8. 6イニング制・時間制限(1時間30分)を採用する。健康維持を考慮し、5回終了前であっても試合開始後1時間30分を経過した場合は、新しいイニングに入らない。均等回完了をもって試合を決する。コールドゲームは4回以降7点差とする。
9. 2試合目以降のオーダー交換は前の試合の3回終了時まで監督と主将がユニフォームを着用のうえ本部に来て行う。当日、監督不在の場合は必ず事前に代理を申し出ること。第2試合以降は、前の試合終了後20分を目安に次の試合を開始する。
10. 聞き苦しい保護者の「ヤジ」はチームの責任として対処します。  
チームの応援は自チームが攻撃の時を基本とし相手が攻撃の時は控えることとする。  
※投手が投球動作に入ったら、応援はやめること。(全国スポーツ少年団競技規則)  
ベンチ内の大人がいかなる場面であろうとも、選手を委縮させるような言動はしないこと。
11. 選手の守備・打者用手袋の着用については、色を含め規制をしないこととする。
12. 捕手は安全のため、ファウルカップを着用すること。なお、投球練習時の捕手は必ずキャッチャーマスクを着用すること。(控え捕手も同様)
13. 投手の投球制限については、選手の肘、肩の障害予防として下記の取り扱いとする。  
①1人の投手は、1日並びに1週間の投球できる数を下記のとおりとする。  
学童部(1日:70球以内、1週間:210球以内)(4年生以下60球、180球)  
②試合中に70球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。  
③ボークにもかかわらず投球したものは、球数に数える。  
④タイブレークになった場合、1日70球制限内で投球できる。  
⑤牽制球や送球とみなされるものは投球数としない。  
⑥投球数の管理は、大会本部で行うので、各チームも協力すること。
14. 小学校低学年(3年生以下)の選手を大会に出場させる場合は、必ず保護者の同意書の提出を必要とする。(押印不要、開会式当日に受付時に同意書を提出すること。)
15. 試合当日は、両チームでボールボーイの配置をお願いします。
16. 2025年度から一般用のバット(打球部に弾性体を取り付けたもの)の使用は禁止する。